

大学名：国立大学法人 琉球大学

ASPUivNet の 4つの機能	評価項目	事例記述
学校のユネスコスクール加盟を支援します。	1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	加盟を希望する地域の学校（沖縄県立嘉手納高校）から相談を受け、教職員研修の講師を担当し、その後も相談体制を整えている。
	2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	キャンディデート校（浦添市立前田小学校）現状の取組みについてシンポジウムにおいて共有し、本申請について相談を受けた。（3月時点で事務局からweb上での本申請が保留中ということで、その旨を伝えた。）
	3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けてESD/SDGsをリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	本学を会場として開催した「沖縄県 SDGs 教育実践活動報告ワークショップ」（2022年3月18日）において、県内学校のESD/SDGs教育の実践活動報告及び県内の教育リソースの紹介を踏まえたディスカッションの深化は、キャンディデート校への質の向上につながる機会を設けた。
大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。	1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援（資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど）を行うことができた。	本学を会場として「沖縄県 SDGs 教育実践活動報告ワークショップ」（2022年3月18日）を開催し、県内学校（初等中等、高等教育機関）でのSDGs教育実践活動を報告し、情報共有と意見交換する機会を設けた。
	2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	前述1のワークショップでは、実践活動報告を通してキャンディデート校に登壇者として協力頂いた。
	3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	該当なし。
地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。	1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	県内の教育委員会や教育事務所、教育機関（小学校～大学）、大学コンソーシアム沖縄、JICA おきなわなど、ESDに関心のある組織や推進機関に前述のワークショップの通知や後援依頼を通して認知して頂くことができた。
	2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	前述のワークショップ開催によって、沖縄県のSDGs研究指定校をはじめ小学校から大学にいたる教育関係者及び多様な教育関係者とNPO/NGO等、多様な参加者が一同に集う交流を通して、ESD及びSDGs教育の推進に繋がる学びの場を創出することが出来た。

		また、ワークショップでは県内にある国際海洋情報センター（GODAC）の特別講演『SDGs 教育プログラムと活用事例の紹介』を通して、地域のステークホルダーと学校現場をつなぐ機会を作ることができた。
	3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	沖縄県教育委員会と連携し（共催）、大学コンソーシアム沖縄（後援）ともつながる等して前述のワークショップを開催し、沖縄県内大学にユネスコスクールの意義について周知することができた。
国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。	1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	近畿 ESD コンソーシアム成果発表会実践交流会（2022 年 12 月 25～26 日）において、県内の ESD ティーチャープログラム受講教員による実践報告と本学教員が ESD 対談シンポジウムに登壇し、県内のユネスコスクール及び ESD の推進状況等を説明した。
	2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	ユネスコスクール九州・沖縄ブロック大会（2022 年 10 月 23 日）において、県内のユネスコスクールの交流を促進し、本学の担当者もコメンテーターとして参画することができた。 近畿 ESD コンソーシアム主催の 2022 年度 ESD ティーチャープログラム・沖縄会場（6～11 月：計 5 回）での開催を支援した。
	3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。 （例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など）	該当なし。
その他の活動	1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	本学 SDGs 推進室及び教育ワーキンググループにおいて、ASPUnivNet の取組みを周知した。また本学の SDGs 専用 Web サイトを通じて、学内構成員への活動周知を行った。
	2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	該当なし。
	3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	該当なし。
	4. 自由記述	大学として「カーボンニュートラル達成に向けた大学等コアリション」（人材育成 WG）に参加し、ESD/SDGs の達成に向けた教育を元にした教育開発と大学間の連携を進めている。

		<p>本学の教員が県内の教育総合センター及び教育研究所における中堅教員研修でESD/SDGs教育の講義を担当し、ユネスコスクールの存在や意義について説明した。</p> <p>県内のESD/SDGs教育の実践活動を教員間で報告し合い、質の向上につなげていく沖縄ESDティーチャー研究会の開催（オンライン5回、ハイブリッド1回）を支援した。</p>
--	--	--